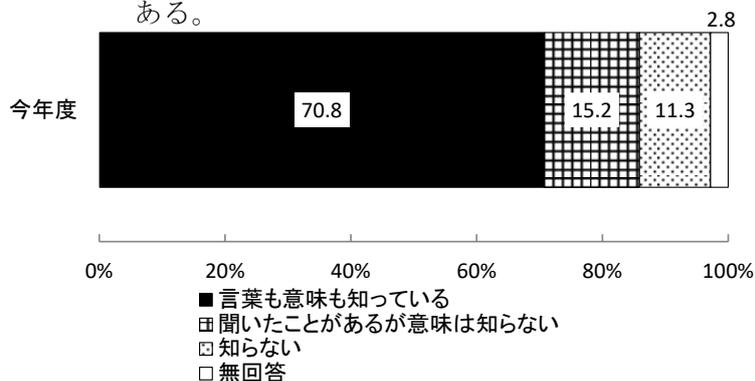


11. 性の多様性について

11-1. 「LGBT」の認知度

Q11-1 県では、性の多様性を認め合う意識の醸成を図るため、啓発活動に取り組んでいます。あなたは、「LGBT」※という言葉を知っていますか。（○は1つ）

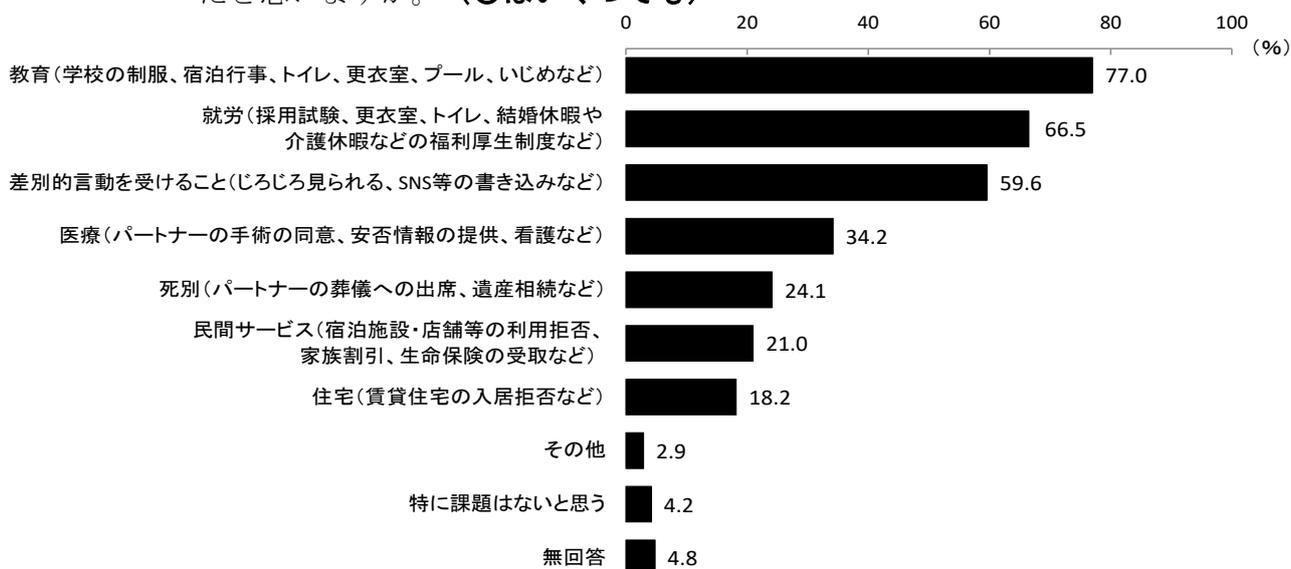
※LGBT：レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人）の頭文字を組み合わせた言葉で、性的マイノリティーを表す言葉の一つとして使われることもある。



「LGBT」の認知度について、「言葉も意味も知っている」が70.8%、「聞いたことがあるが意味は知らない」が15.2%、「知らない」が11.3%となっている。

11-2. LGBTの方が日常生活で直面する課題・困難

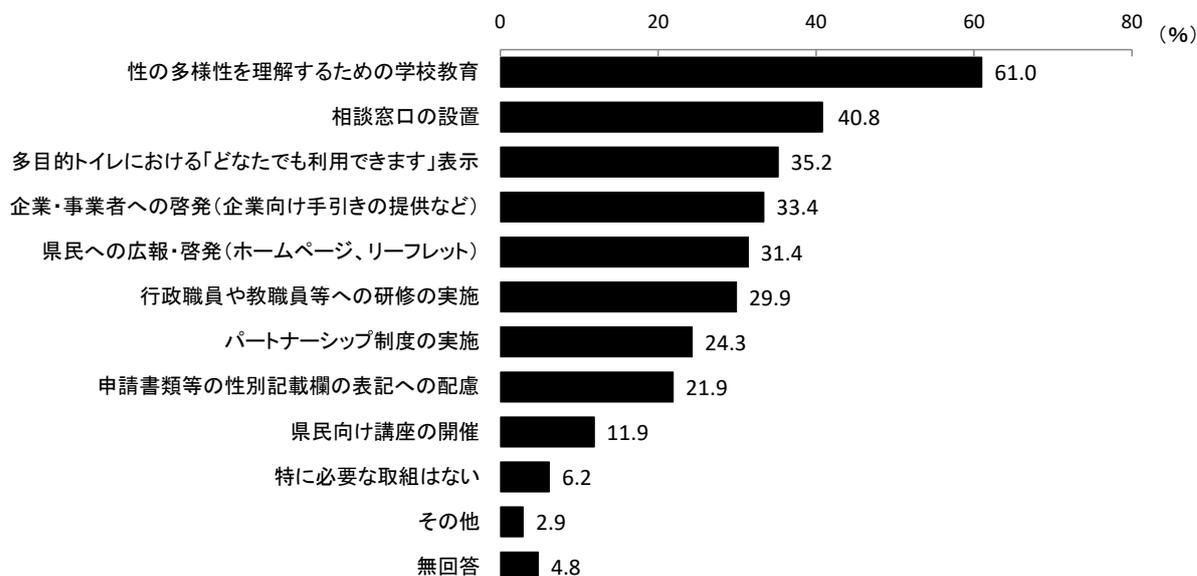
Q11-2 あなたは、LGBTの方が、日常生活を営む上で直面している課題・困難は何だと思いますか。（○はいくつでも）



LGBTの方が日常生活で直面する課題・困難について、「教育（学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど）」が77.0%も高く、次いで「就労（採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など）」が66.5%、「差別的言動を受けること（じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど）」が59.6%の順となっている。

11-3. 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要な取組

Q11-3 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。(〇はいくつでも)



性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要な取組について、「性の多様性を理解するための学校教育」が61.0%と最も高く、次いで「相談窓口の設置」が40.8%、「多目的トイレにおける「どなたでも利用できます」表示」が35.2%の順となっている。